

## 第2回 奈良市総合教育会議 概要

開催日時：平成27年10月21日（水）10時00分～11時00分

開催場所：奈良市はぐくみセンター 多目的講座室（8階）

協議題：奈良市教育大綱について

出席者：仲川げん（奈良市長）

杉江雅彦（奈良市教育委員長） 金春穂高（奈良市教育委員）

中室雄俊（奈良市教育長） （欠席：都築由美教育委員）

畑中康宣（奈良市教育委員）

開催形態：公開（傍聴人：なし）



1 挨拶（奈良市長 仲川げん、奈良市教育委員長 杉江雅彦）

### 2 協議題

#### 奈良市教育大綱について

○大綱（案）について事務局から説明の後、2つの重点課題について意見交換。

##### 【「アイデンティティの確立」についての主な意見】

- \*学校生活の中で、子供たちが自らの価値観を創っていくことが大切である。
- \*グローバル社会においても個の存在は大切であり、自己肯定感を育む教育が大切である。
- \*奈良が独自にもっている伝統や文化、歴史について、世界遺産や伝統文化が身近にある奈良の子供たちは、他の町の子供たちに比べ、実際に触れながら勉強することが可能である。
- \*英語を学んだり、外国の人と接したりする中で、日本人が持っている美しい所作や心に気付いていってほしいし、そういった機会を保護者とともに作っていくことが必要である。
- \*世界遺産だけを学ぶのではなく、それぞれの校区や先人が守り続けてきた思いを学ぶことで、奈良で生まれ育ち、奈良で教育を受けたことを自分の言葉で語るができるようになってほしい。
- \*「アイデンティティ」という言葉は誰もが何となくわかる言葉であるが、あいまいな部分が多いと思うので、分かりやすい例示をする必要がある。
- \*古<sup>いにしえ</sup>から多様な人を受け入れ、協働してきた奈良においては、そのような「しなやかさ」が「奈良らしいアイデンティティ」となるのではないか。

##### 【「教員の多忙化の解消」についての主な意見】

- \*市の教育委員会として、教員アンケートなどからわかる学校現場の実態を基に、教員の多忙化解消に向けて様々な取組を進めている。
- \*教員が、効率的な業務ができているかを考えていくことも必要である。
- \*教員には心のゆとりや生活の充実、自己研鑽が必要であり、人間味あふれる教員であってほしい。
- \*教員の自己研鑽によって得たことを子供たちに伝え、子供たちのモチベーションを高めていくことが教員の役割である。
- \*周りに頼るといふ教員自身の意識改革が必要であり、周りに頼ることで「人に頼ることでそのありがたみを知り、人から頼られる人になる」ことを子供たちに伝えていくことができるのではないか。
- \*授業時間以外に子供たちと話をする時間などが増えれば、子供たちとの信頼関係がより深まる。
- \*保護者の中で、教員を応援していく意識が根付いていくことも必要である。
- \*現在、進めている教員の多忙化解消に向けた取組の効果検証をして、本当に多忙なのか、そう感じているだけなのかを見極めるなど、適切判断をすることが大切である。

##### 【全体に関わっての主な意見】

- \*大綱に基づき、教育ビジョンにある「知・徳・体・夢・誇」を取り込みながら具体的な計画として教育振興基本計画を作成していく。

○大綱（案）の骨子について了承。今後、文言の修正を加え、事務手続きを経てホームページにて公開。

閉会